

**2025 サマーキャンプ「パキスタン Moses Peak 登山とフンザ散策」トレッキング隊
感想集約(長野県山岳協会)**

前半のモーゼズピークでは体力不足で苦労の連続でしたが、フンザ入りして標高差5kmを超える圧倒的な姿のラカポシを見上げた時の感動は忘れられません。47年前果たせなかったフンザ訪問を晴天に恵まれ満喫できた最高の旅となりました。ありがとうございました。

前半は体の不調に、中盤は日光の強烈さに、後半は洪水の脅威に驚かされました。でもでも、NMAメンバーのやさしさと、ガイドさんなどスタッフの細やかな気配り、現地の人々の人懐っこさにふれられた最高に楽しい旅でした。

岩から砂へ増大するエントロピー、諸気象現象と水の作用と影響。そこで展開される素朴で人情溢れる人々の生活。初海外登山、初富士山越えの標高。隊長と仲間とガイドのおかげで貴重な体験ができた。全てに感謝。

私の大きな目的はホーパルに行って大西さんのモニュメントを取り付けることでした。土砂崩れという自然のなせる業のためそれは叶いませんでしたが、フンザの良さ、パキスタンの商業主義に依存しない姿を見せていただき有難うございました。

果てしなく続く高く険しい岩陵に圧倒され続けた。富士山より先にモーゼス・ピークとなった。5000m 位から息苦しくなったが、ハミドさんに励まされながら山頂へ。そこには、360度、壮大な山々が広がっていた。究極のワンダーランド！

民家の間を歩き、川のせせらぎを聞きながら標高を上げ、ハーブの香りに包まれながら歩いたモーゼズピーク C2 までのトレッキングは日本では味わえない体験でした。

入山前の体調不良や心配した加齢の影響もそれほどでなく、高度障害も出ずにモーゼズピーク(5350m)の頂上に無事立つことができた。幸運なことに天気予報が見事に外れ、K2 他多くの高峰の遠望も楽しめた。

故大西さんが憧れたフンザ、スパンティークを観てみたいと手を挙げたのですが、想像以上に過酷でした。なんとかモーゼス・ピークの山頂に立つことができ、この桃源郷に招いてくれた、中島さん、故大西さんに感謝しかありません。

パキスタンでの数々の挑戦を振り返ると…穏かなガイドのフィダさん、いつも冷静なリーダー中島さん、山行を共にした優しい仲間たち、そして現地のお茶目なポーターたちの支えなくては乗り越えられなかったと思います。一人旅では得ることができないこれらの経験と生涯忘れることのできない人々との出会いの機会を作ってくれた長山協の企画に心から感謝します。

私にとっては初めての海外登山でしたが、壮大な名峰たちや果てしなく続く大地、親切な現地の方々、刺激的な食事など、日本では感じる事ができない世界に触れることができました。ありがとうございました。



写真①カプロの子どもたち



写真②モーゼズピーク登頂

sone



写真③ラカポシ峰



写真④フンザ・カリマバード